

STOP!

子どもの車内放置

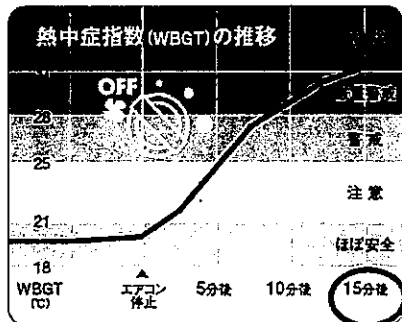


千葉県では、児童の車内放置に関する対応件数が5月末の時点で23件で、すでに去年の21件を上回っています。地域みんなで大切な命を守りましょう。



車内はこんなに危険!

外気温35度の炎天下で、窓を閉め切った状態でエンジン停止後、わずか15分で人体に危険なレベルに達します。



JAFユーザーテストより

熱中症の症状

- めまい、たちくらみ
- 筋肉痛
- 汗が止まらない
- 頭痛、吐き気
- だるさ、虚脱感
- 高い体温
- 意識の障害
(応答が異常、呼びかけに反応がない等)
- けいれん



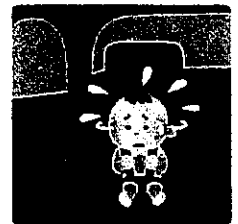
自力で水が飲めない、応答がおかしい時には、すぐに救急車を!



ちょっとした時間でも、エアコンをつけていてもダメ! 車内放置は児童虐待 (ネグレクト) です。

季節や時間に関係なく、「寝ているから」「ちょっとだけ」等で、子どもを車内に置き去りにしてはいけません。

お子さんには、もしも車の中に取り残されたら、クラクション等でSOSの合図をするよう、伝えましょう。



車に放置されている子どもを見つけたら

- ①警察 ☎110 または
市原警察署 ☎0436-41-0110
いちはやく
- ②児童相談所虐待対応ダイヤル ☎189

車内放置防止啓発動画
「STOP!!車内放置
オキザリスるなー!!」
(千葉県警)



【問い合わせ】市原市役所 子ども家庭総合支援課 ☎0436-23-9746

令和5年7月作成